

青森市匠の職人（平成23年度受賞）

いしとや
石戸谷

あきはる
昭治

（手かじ）（鍛造）（工）

将来、青森をロートアイアンの産地にしたい



問い合わせ先 鉄工房アール
〒030-0957
青森市蛸沢4丁目10-15
TEL 017-744-1558



門扉を飾る鉄の薔薇の装飾（左）と結婚式場の装飾（右）

【取材レポート】

“鍛冶”といえば日本刀や包丁といった生活で使う刃物を作る”和鍛冶”が一般的ですが、石戸谷さんの『ロートアイアン』は、薔薇の装飾がついた鉄の門扉やフェンスのほか、表札や看板、階段の手すり等を、棒や板状の鉄を真っ赤に加熱し、ハンマーで叩いて作る”西洋鍛冶”を言います。

石戸谷さんは高校を卒業後、様々な会社を渡り歩き、設計・機械加工・溶接と、金属加工の技術を身につけ独立。鉄工房アール”の看板を掲げます。

初めのうちは、主に建築現場の溶接の仕事をしてきた石戸谷さん。

「ある日、ゲーディングで使う鉢置きを作って欲しいと妻から頼まれたんです。海外のロートアイアンのホームページを眺めながら、試行錯誤で鉢置きを作りました。簡単そうで、実際にやってみたら難しい。このときから、ロートアイアンに夢中になりました」と、当時は思い起こします。

今は、忙しい仕事の傍ら、子ども達に『ものづくり』に興味を持ってもらいたいとの思いから、実際に鉄に触れ、ものを作る楽しさや難しさ、完成したときの喜びを体験できる鍛冶屋教室を開催しています。

「将来、この技術が地域に根を張り、青森がロートアイアンの産地になることを目標に、これからも製作に取り組んでいきます」と熱く語ってくれました。

